

近畿地方整備局 滋賀国道事務所 滋賀県
資料配布

配布日時	平成 22 年 10 月 26 日 14 時 00 分
------	--------------------------------

件名	<b>暮らしと交流を支える橋、次世代にも使えるように</b> ～「湖国の橋を守る」講演会・パネル展を開催～
----	--

概要	<p>私たちの暮らしや交流を支えるため、高度経済成長期に集中的に橋梁建設が進められてきましたが、これらの橋梁も建設後 40 年～50 年が経過し、老朽化に伴う損傷が各地で発生しています。架け替えると莫大な費用と期間がかかり、社会的にも大きな損失となるため、できるだけ長寿命化させる取り組みが求められています。</p> <p>近畿地方整備局では、滋賀県と共催し、「湖国の橋を守る」をテーマに講演会を開催することとなりました。</p> <p>道路橋をとりまく状況や橋梁の損傷や対策事例とともに、管理者による取り組みなどを紹介するなど、橋梁の予防保全による長寿命化について参加者とともに考えていきます。</p> <p>また、「湖国の橋を守る」をテーマにしたパネル展を開催します。</p> <p>&lt;講演会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 名称：「湖国の橋を守る」</li> <li>■ 開催日時：平成 22 年 11 月 11 日(木)14 時 10 分から 17 時まで</li> <li>■ 開催場所：滋賀県庁東館 7 階大会議室</li> <li>■ 参加費：無料</li> <li>■ 申し込み方法：滋賀国道事務所ホームページより講演会専用フォームを利用。 URL <a href="http://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/">http://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/</a></li> </ul> <p>定員約 100 名(会場の都合上、定員に達した時点で締め切りますので、予めご了承ください。)</p> <p>11 月 8 日(月)までに申し込みをお願いします。</p> <p>&lt;パネル展&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開催場所・開催期間</li> </ul> <p>大津市役所 1 階市民ギャラリー (10 月 29～11 月 4 日 土日祝除く) 道の駅びわ湖大橋米プラザ 2 階休憩所(11 月 1～11 月 11 日)</p> <p>&lt;実施主体&gt;</p> <p>主催：近畿地方整備局 共催：滋賀県 後援：国土技術政策総合研究所・(独)土木研究所</p>
----	---

取扱	—
----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 滋賀県政記者クラブ
------	---------------------------------

問合せ先	<p>近畿地方整備局 滋賀国道事務所 副 所 長 板垣 勝則 調 査 課 長 岡本 泰尚 TEL 077-523-1741 (代表)</p> <p>滋賀県道路課 道路課 主幹 岡本 康弘 主査 本庄 聡 TEL 077-528-4134</p>
------	--

## －「湖国の橋を守る」講演会－

■ 開催日時：平成 22 年 11 月 11 日(木)14 時 10 分から 17 時まで

■ 開催場所：滋賀県庁東館 7 階大会議室

■ 開催目的：

日本の橋梁は、高度経済成長期に集中的に橋梁建設が進められてきましたが、建設後 40 年～50 年が経過し、老朽化に伴う損傷が各地で発生しています。

架け替えると莫大な費用と期間がかかり、社会的にも大きな損失となるため、できるだけ長寿命化させる『予防保全』の普及などを目的に、滋賀県と協力した講演会を開催します。

■ 講演内容：

1. 「長寿命化時代の橋梁の予防保全対策」  
(独) 土木研究所構造物メンテナンス研究センター  
橋梁構造研究グループ長 吉岡 淳
2. 「維持管理に必要な技術・人・体制」  
京都大学大学院工学研究科教授 河野 広隆
3. 「近畿地方における橋梁の長寿命化の取り組み」  
近畿地方整備局 道路保全企画官 橋本 拓己

■ 参加費：無料

■ 申し込み方法：

滋賀国道事務所ホームページより講演会専用フォームを利用。

URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/>

定員約 100 名（会場の都合上、定員に達した時点で締め切りますので、予めご了承ください。）

11 月 8 日(月)までに申し込みをお願いします。



－「湖国の橋を守る技術展(パネル展)」－

- ① 大津市役所 1階市民ギャラリー (10月29～11月4日 土日祝除く)
- ② 道の駅びわ湖大橋米プラザ 2階休憩所 (11月1～11月11日)



■ 実施主体

主催：近畿地方整備局

共催：滋賀県

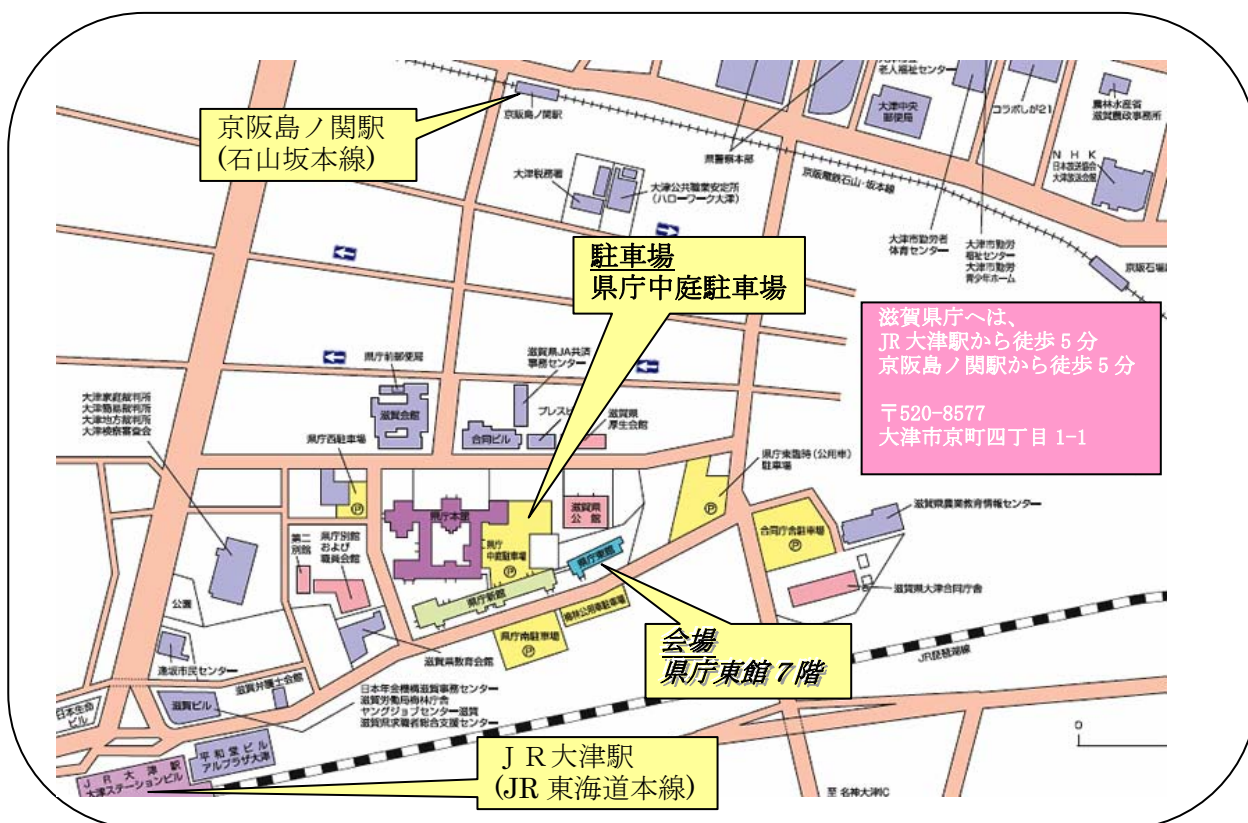
後援：国土技術政策総合研究所・(独)土木研究所

## 報道関係の皆様へ(お願い)

- ① 取材を希望される方は、当日、会場受付までお越しの上、係員の案内に従っていただきますようお願いいたします。
- ② 取材にあたっては、記者及びカメラマンの方は自社の腕章着用をお願いいたします。
- ③ 機材等運搬のため、自動車で来場の場合は、県庁中庭駐車場をご利用下さい。

### ■「湖国の橋を守る」講演会タイムスケジュール(予定)

1. 開会の挨拶(14:10~14:15)  
滋賀県土木交通部長 竹中 喜彦
2. 1「長寿命化時代の橋梁の予防保全対策」(14:15~15:15)  
(独) 土木研究所構造物メンテナンス研究センター  
橋梁構造研究グループ長 吉岡 淳
2. 2「維持管理に必要な技術・人・体制」(15:15~16:15)  
京都大学大学院工学研究科教授 河野 広隆
2. 3「近畿地方における橋梁の長寿命化の取り組み」(16:15~16:55)  
近畿地方整備局 道路保全企画官 橋本 拓己
3. 閉会の挨拶(16:55~17:00)  
滋賀国道事務所長 大西 博

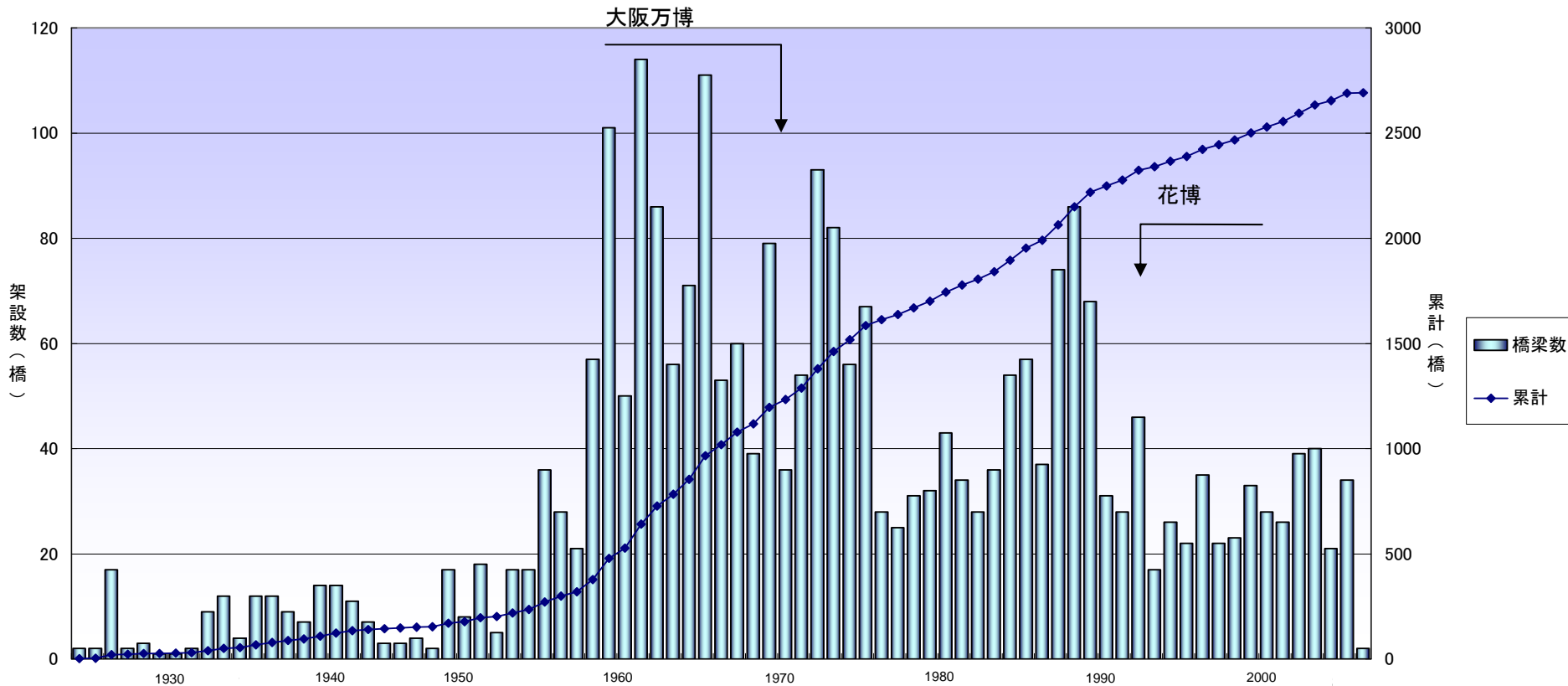


# 建設年次別の橋梁数

【参考資料】

近畿地方整備局が管理する道路橋(3,630橋)のうち、全体の約3割にあたる約1,100橋が、1950年代半ばから1970年代初め頃にかけての高度経済成長期に建設。

## 近畿地方整備局管内 橋梁架設数の推移



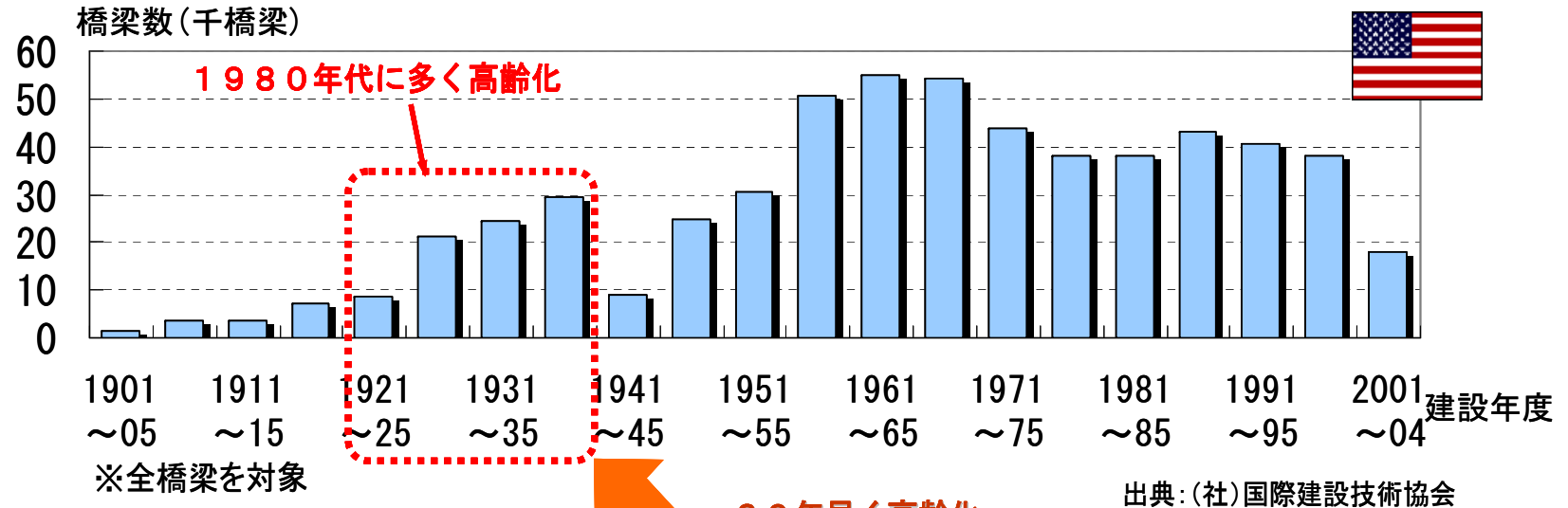
注1) 架設年不明橋梁が存在するため、橋梁数と累計が一致しない。



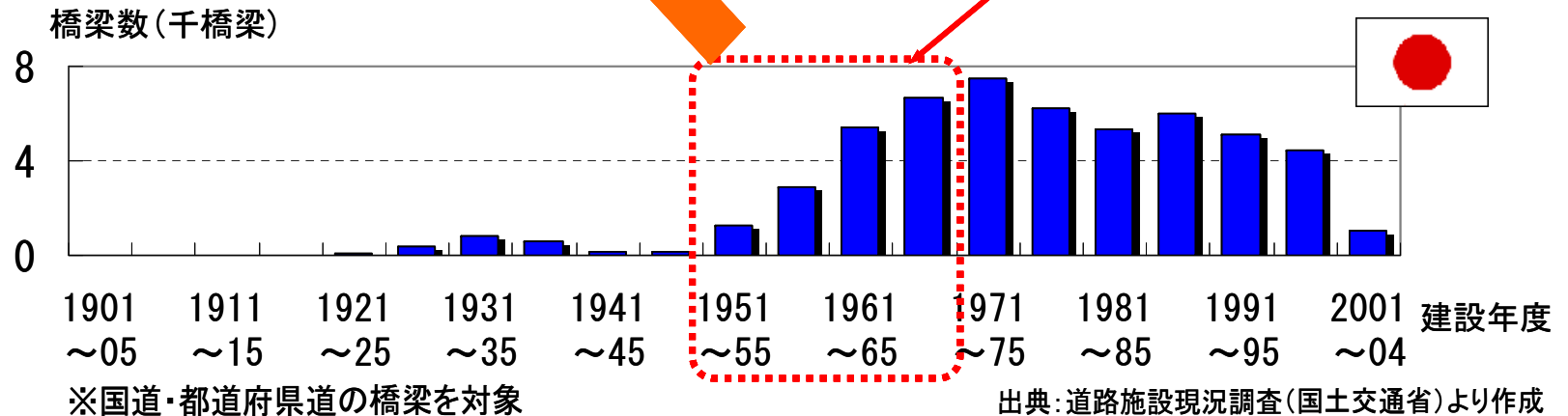
# 急速に進む日本の橋梁の高齢化

- ・米国では、日本よりも30年早い1980年代に多くの道路施設が高齢化。
- ・日本でも近い将来、高齢化が急速に進む。

【米国の橋梁の建設年】



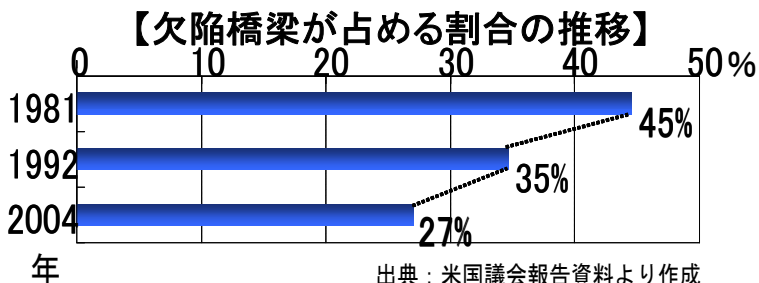
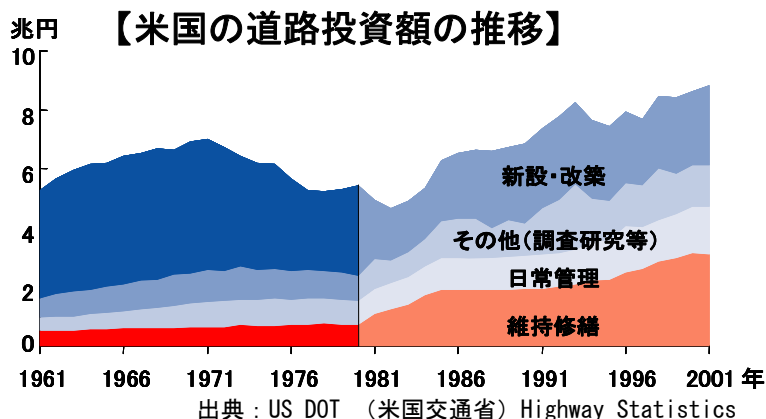
【日本の橋梁の建設年】



# 荒廃するアメリカの状況

- ・アメリカでは70～80年代で「荒廃するアメリカ」と言われ、落橋や橋の通行止めが頻発しその教訓から予防的安全対策に投資。
- ・維持補修に力を入れたことにより欠陥橋梁は減少したものの、2004年時点で未だ30%近い欠陥橋梁※が存在。

※欠陥橋梁：劣化のため車両通行規制がかかるなど構造的に欠陥のある橋梁や幅員不足など機能的に基準を満たさない橋梁



【シルバー橋の崩壊(1967年)】



【マイアナス橋の崩壊(1983年)】



出典：Fond du Lac Commonwealth Reporter  
(1967年12月)



出典：(社)国際建設技術協会

【損傷が進んだ舗装】

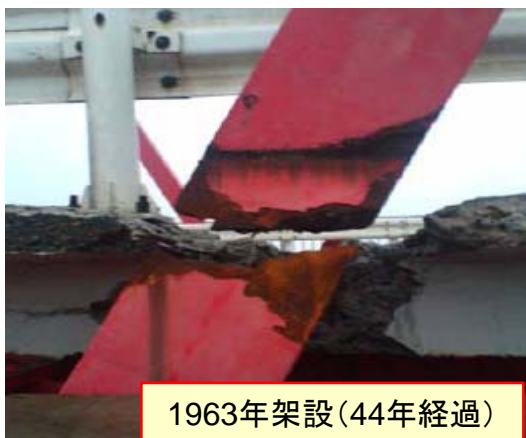


【有料橋の床版補修】



出典：「欧米主要国道路の光と影」(1984年 日本道路協会)

# 日本における道路橋の崩壊



木曾川大橋 2007年6月  
(トラス橋の斜材の破断)



本荘大橋 2007年8月  
(トラス橋の斜材の破断)



香川県と徳島県の県境(管理者不明)  
2007年11月(橋梁の崩落)



長野県木祖村村道 新菅橋 1989年  
(腐食によるPC鋼線の破断)



岐阜県福田町町道 島田橋 1990年  
(腐食によるPCケーブルの破断)

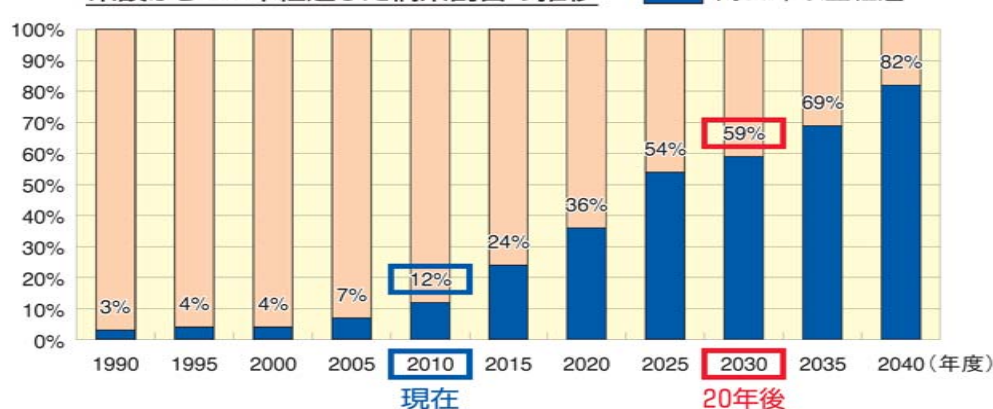


# 道路橋の保全に関する取り組み

近畿地方の直轄国道において、建設後50年を超える橋梁数の割合は、20年後には現在の1割から約6割まで急激に増加します。

これら橋梁の長寿命化を図りライフサイクルコストを軽減するため、これまでの「事後保全型」の維持管理から「予防保全型」の維持管理への転換を目指します。

架設から50年経過した橋梁割合の推移



橋梁の損傷事例

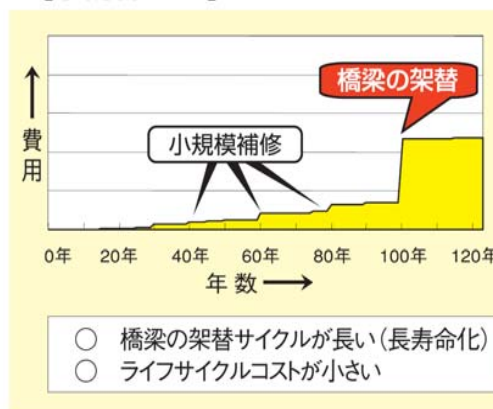


支柱の座屈(国道1号白川橋)

【事後保全型】

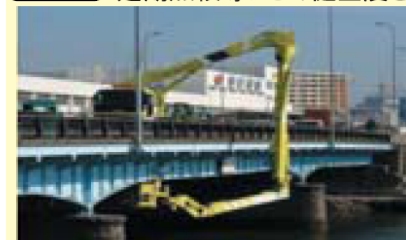


【予防保全型】



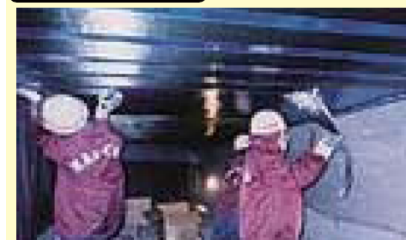
点検

道路施設を計画的に管理するため定期点検等により健全度を把握



小規模補修

炭素繊維接着等



損傷がより深刻化する前の軽微なうちに対策を実施